令和6年度　上田市立南小学校　学校自己評価シート（前期）

学校目標	めざす子ども像　　～ 笑顔輝く南っ子 ～	総合評価
ただしく あたたかく	１ すすんで勉強する子ども　【ただしく】 ２ 体をきたえる子ども　【つよく】 ３ がんばりぬく子ども　【つよく】 ４ 自分で決めて行う子ども　【ただしく】 ５ 思いやりのある子ども　【あたたかく】	「全職員で全校の児童を見守る」という意識の中で、チーム支援を大切に指導したり、よさを認めたりする職員集団を構築しようと努めている。児童間では、音楽会や児童集会等で他学年の良い姿に触れ、認め合う様子が見られた。6年生を中心に「気持ちのいいあいさつ」をすることに力を入れて取り組んできたところ、気持ちのいいあいさつが響きあうようになりはじめている。 基礎基本の充実や交通ルールやマナーの指導など、課題としてあがってきているものについて、全職員で共通理解を図り、足並みをそろえた指導を引き続き行っていきたい。

今年度の重点目標（重点活動）			成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
知:正しく	わくわく学び合い	自分の考えを持ち表現する	グランドデザインの重点目標や各プランを意識して、子どもたちが「自分の考えをもつ」「自分から取り組む」「自分で表現する」姿をめざして取り組みが進められてきた。個々や小集団での伸びが見られる一方、個人差があるので、全体へと広げていけるようにしたい。		○			活動や学習のめあてや意義、方法などを理解できるように丁寧な説明や資料を用意し、児童が主体的に取り組めるようにしていく。よさを認め、広めていくことで、児童の自己肯定感を更に高めていけるようにする。
徳:温かく	にこにこ響き合い	自分から進んであいさつする			○			
体:強く	どんどん磨き合い	根気よく清掃に取り組む			○			

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
教育活動	学年・学級経営	気づき清掃の推進・奉仕精神の醸成	ひざつき清掃など、具体的な清掃の方法を指導し、自分から気づいて前よりきれいにすることで、協働することのよさや奉仕の大切さを意識させることができたか。	高学年が良い見本となり、低学年は、高学年のそうじの姿を見て、気づき清掃を学ぶことができた。清掃に対する態度や方法などが低学年にも浸透してきたと感じる。更に汚れているところに気づいてきれいにしようとする気持ちを育てていきたい。		○			しっかりと清掃に取り組む姿を褒め、どうしたらその姿や雰囲気が持続していけるのかを子ども達とともに振り返って実行していく。やり方がわからないでいる児童に対しては、やり方が明確になるよう工夫して伝えていく。
		規範意識の高揚と危機管理意識の向上のための指導	校内生活で「右側廊下歩行」の徹底をさせて規範意識の高揚を図れたか。通学時に「道路横断前後の立ち止まり（確認・挨拶）」を意識付け、実践させることはできたか。	地区児童会にて「道路横断前後の立ち止まり（確認・挨拶）」や「交差点での渡り方」など交通ルールの確認ができた。登下校時に高学年が見本となるようにと丁寧に指導を行ってきたところ、子ども達同士で声を掛け合って安全確認をする姿が見られた。「廊下歩行」については、なかなか徹底できていないところがある。引き続き粘り強く指導を続けていきたい。		○			児童会や地区子ども会での取り組みを大切にしながら，安全に行動することについて、共通認識をもてるよう学級でしっかり指導していく。引き続き交通ルールやマナーの指導を丁寧に繰り返し行っていく。
		気持ちのよいあいさつの充実と返事の徹底	積極的な声がけや児童会活動との連携で、気持ちのよいあいさつや返事のよさを自覚させ、快適な学校生活に向けて取り組んでいるか。	日頃から思いを伝え合うあいさつ、相手意識をもったあいさつの良さを意識して指導してきた。子どもたちは、あいさつを交わし合うことで気持ちよく過ごせる心地よさを感じてきている。6年生の校門でのあいさつ活動により、朝のあいさつが響くようになってきた。自分から進んであいさつする児童が増えてきているので、この姿を広めていきたい。		○			児童会の取り組みを後押ししていくとともに、引き続き、職員も自分から積極的にあいさつをすることを心がけていく。子どもたちが気持ちの良いあいさつができている姿を認め、広げていく。
		響き合う歌声や交流活動による認め合える仲間づくり	仲間と歌声を響き合わせたり、異学年や地域の方々とのふれあい交流を行ったりすることで、互いに認め合える集団づくりを進めているか。	音楽集会を定期的に行い、全校で同じ歌を歌う機会をもてたことが良かった。音楽会では他学年の発表を聴いて感想を伝え合うなど良い経験ができた。仲間と共に練習をしたり、意識を高め合うことができた。児童会縦割り班の活動や総合的な学習での交流活動を行っているが、ゆとりをもって他学年と関わる時間をとることが難しいと感じる面があった。		○			音楽集会や児童集会を計画的に行い、異学年交流の場を設けていく。総合的な学習の時間や行事などを通して、更に異学年交流を図っていく。朝の時間に歌ったり音楽集会を工夫したりし、歌うことへの意識をさらに高め歌声を広めていく。
	学習指導	授業のユニバーサルデザイン化・南小スタイルの推進	校内及び教室環境や教材の整備ができたか。「学習問題」「まとめ」を板書計画に位置づけ、授業の流れがわかる板書の工夫ができたか。	配布されたホワイトボードやマグネットを使って授業の流れを確認し、「学習問題」「まとめ」を明確に位置づけた授業を意識することができた。どの子にも見やすい板書を心がけたり、子どもたちが理解しやすい掲示物を選定して掲示したりした。		○			今後も一時間の流れがわかる板書を心がけたり、一人ひとりの様子に気を配りながら教材を作っていく。
		じっくり考え、しっかり書く振り返りの時間の確保	１時間で学んだ内容を書いたり、学び方を振り返ったりする時間を確保し、子どもの考えの変容や定着状況を確認しているか。	まとめと振り返りの時間を確保できるように意識してきた。振り返ることはできたが、「じっくり」「書くこと」はできていないところもあった。まとめが間に合わず、展開で間延びしてしまうことのないようにしたい。		○			その時間で何をするのか、できるようにするのかを明確にし、学習活動・振り返りに時間を充てられるように計画していく。
		基礎基本の定着・家庭学習の充実	ドリルや学びの時間で、つまずきを把握して、丁寧な指導を行い、基礎基本の定着を図れたか。「家庭学習の進め方」をもとに家庭と連携した家庭学習の充実に努めているか。	一人ひとりのつまずきを把握し、個別に対応できるよう努めている。家庭学習については、内容や量などを工夫して取り組みやすいようにしてきた。保護者の方にも協力いただき、多くの児童は毎日家庭学習に取り組むことができた。		○			一人ひとりの定着度合いを把握し、家庭学習については、今後も保護者の方にも協力をお願いしていく。自分で計画し自主的に取り組めるような家庭学習の方向も探っていく。
		わからないことを聴き合い、考えを伝え合い、学び合う授業づくり	ペアやグループでわからないことや互いの考えを聴き合い、自分たちの考えを深め合い、それを伝え合いたくなる学習場面を設定しているか。	ペア学習やグループワークなどで考えを伝えあったり、協力して問題を解く姿が見られた。友達の力を借りてできるようになったことを実感する児童がいる。目的や時間など、子どもたちと共通理解を図るとともに、必要感をいだいて活動に取り組むことができるようにしていきたい。		○			今後もペア・グループ活動を取り入れ、授業を展開していく。学習問題と学習課題で「話し合う良さ、話し合う必要感」をもてる学習活動にしていく。□
地域との連携	学校作り	信頼関係でつながる学校づくり	学校・学年・学級だよりや懇談等を通して、学校での子どもの様子を伝えたり、うれしかったことや心配なことなど個別に連絡を取り合ったりすることができたか。	懇談会等で保護者の方に学校での子どもたちの様子を伝えられた。また、今後の支援や取り組み方等を一緒に考え、次に繋がる話し合いもできた。全体に関することは、オクレンジャーを活用することで連絡がしやすくなってきた。		○			今後も良い姿や学級全体としての姿、子どもたちのやり取りの様子などを学年通信や学級通信で伝えていく。心配なことがあるときには、保護者と連絡をとり、共有することを大切にしていく。
		南っ子応援隊の活用・三点固定の生活習慣の　確立	地域の方と連携した教育活動を昨年以上に広めることができたか。家庭と連携してメディアと向き合う時間・家庭学習時間・就寝時刻等の固定による望ましい生活習慣の育成を図ることができたか。	グッドメディアデーを通じ、家庭とも連携して生活時間の見直しを図ることができた。学校保健員会での睡眠に関する研修で、実際の児童のデーターを基に研修するのはとてもよかった。今後も子どもたちと話をする機会を作り、よりよい生活ができるよう支援していきたい。		○			生活習慣が不規則な児童やメディアと向き合う時間がどうなのか気になる児童もいるので、家庭と情報交換を継続し、指導を行っていく。

※評価基準　　A…達成できた　　B…おおむね達成できた　　C…やや達成できなかった　　D…達成できなかった